

# 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/05/02号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



## 【現状確認】



(出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

## 需要不安で下落後、供給不安で切り返す

NY原油先物相場は、1バレル=95.28ドルまで急落した後、104ドル台まで切り返す展開になった。中国で新型コロナウイルスの感染拡大が深刻化する中、週前半は需要不安を織り込む形で急落地合した。上海市のロックダウン（都市封鎖）が解消できない一方、首都北京でもロックダウンの脅威が高まる中、中国経済の減速懸念が一段と強くなった。ただ、欧州連合（EU）がロシア産原油の段階的な禁輸で合意する可能性が高いとの見方が強まると、押し目買いで一時107.99ドルまで一気に吹き上げた。

ロシアのウクライナ侵攻から2カ月を経過する中、ロシア軍の攻撃は激しさを増している。東部から南部にかけてウクライナは厳しい戦闘を迫られており、欧米諸国はウクライナ支援を強化している。こうした中、EUはロシア産石炭に続いて原油についても禁輸措置の検討を行っているが、ドイツなどは国内経済への影響の大きさから消極的だった。しかし、時間をかけた段階的な禁輸には賛同の声が強まったことで、近くEUが禁輸措置で合意するとの見方が原油相場をサポートした。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（4月22日時点）は、原油が前週比69万バレル増、ガソリンが157万バレル減、石油精製品が145万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

## 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

## 【展望】

## EUがロシア産禁輸だと底固いが、需要不安で上げ幅限定的か

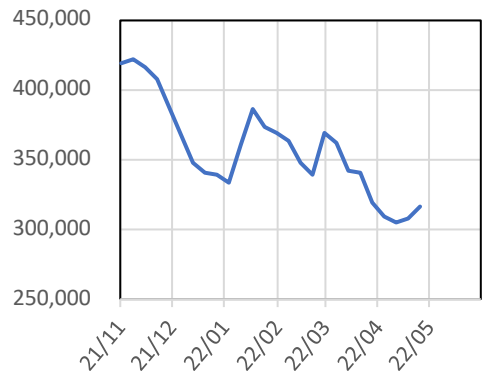
「供給不安」と「需要不安」が交錯する展開が続くことで、高値圏で不安定な値動きが続き易い。中国では新型コロナウイルスの感染状態が終息に向かう兆候が見られるまでは、需要不安が残される。一方、ロシア産原油の取引環境は着実に悪化しており、大きく値を崩す必要性も乏しい。100ドル割れでは押し目買いが膨らみ易い一方、110ドルを大きく上抜くためには需要減退懸念を解消していく動きが求められよう。三角保ち合い気味の展開が踏襲され易い。

中国では、「ゼロ・コロナ」政策がうまく機能していない。上海市のロックダウンは既に1カ月を経過したが、北京でも大規模な検査が行われているため、今後の感染動向によってはロックダウンを迫られることになる。中国経済の減速はもちろん、サプライチェーンの混乱を通じて世界経済の先行き不透明感も高める動きはネガティブ。感染終息の兆候が見られるまでは、突発的な下落リスクを抱える。

一方、ロシア産の取引環境は5月入りしてから一段と悪化する見通し。経済制裁の影響が徐々に顕在化することに加えて、EUが禁輸措置で合意する可能性が高まっている。石炭と同様に即時禁輸の可能性は低いが、EUの「脱ロシア」が加速し易くなっている。ロシアは、ポーランドとブルガリア向けの天然ガス供給を止めており、エネルギーを「武器」として使用し始めたことが欧州の危機感を高めている。実際に禁輸措置が合意されると、買い圧力が強まり易くなる。

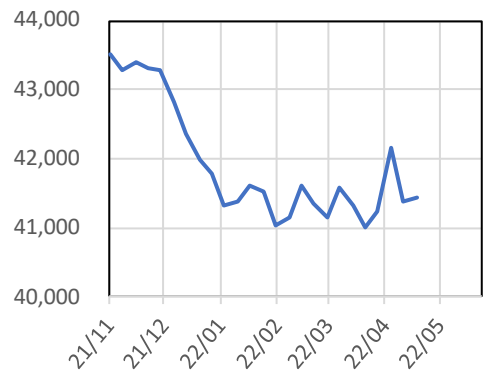
中国やインドはロシア産原油の調達を活発化させている模様だが、経済制裁の影響で大規模輸送は困難との報告もあり、実際にロシア産原油の調達量を大きく増やすことができるのかは不透明感が強いことはポジティブ。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



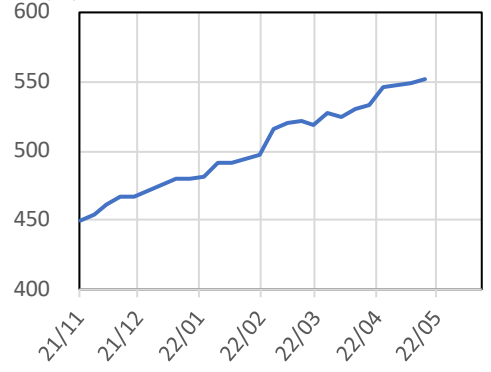
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

## 【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 [info@marketedge.co.jp](mailto:info@marketedge.co.jp)

### 小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は  
ツイッターで

